



航空機を模擬操縦 現役も招きテスト

金沢工大、中部の大学で初

金沢工業大学（石川県野々市町）は、航空機の操縦を模擬体験できるフライトシミュレーターII写真IIを導入した。工学

部に二〇〇四年度開設した航空システム工学科で使う予定。中部地方の大学では初導入という。

このフライトシミュレーターは最新鋭大型旅客機のコックピットを模している。実際の操縦と同じ操作をすると、それに合わせて操縦席から見える地上や空の光景、計器データが変化する。

シミュレーターを使えば、学生が設計した航空機や操縦プログラムの性能・安全性を、実際の飛行に近い条件で評価できる。現役パイロットを招いてのテストも予定する。三菱重工業OB

でもある片柳亮二教授は「実際の航空機開発に近いやり方で教育に取り組みたい」と話している。